



2024年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年8月7日

上場会社名 住友ベークライト株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4203 URL <https://www.sumibe.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 一彦
 問合せ先責任者 (役職名) 総務本部 コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 植田 毅 (TEL) 03(5462)4165
 四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		税引前四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	70,254	△2.1	6,562	△4.3	6,499	△3.5	7,564	19.1	5,712	21.3
2023年3月期第1四半期	71,733	14.5	6,855	2.8	6,732	2.3	6,348	△8.0	4,711	△10.2

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	121.57	—
2023年3月期第1四半期	100.11	—

(注) 「事業利益」は、「売上収益」から「売上原価」、「販売費及び一般管理費」を控除して算出しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	401,402	272,962	270,516	67.4
2023年3月期	378,457	257,692	255,358	67.5

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	60.00	—	70.00	130.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	70.00	—	70.00	140.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		事業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	295,000	3.5	28,500	12.0	21,500	6.0	459.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	49,590,478株	2023年3月期	49,590,478株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	2,735,114株	2023年3月期	2,535,917株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	46,986,043株	2023年3月期1Q	47,055,512株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(重要な会計方針)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の経済環境は、世界的にサービス産業を中心に活発な個人消費がみられる反面、欧米での金融引き締めによる設備投資の鈍化、巣ごもり需要の反動による民生機器の販売不振など製造業にとって逆風となる状況がみられました。また為替相場は当期期初から円安・ドル高方向に変動しました。

このような情勢のもと、当社グループの売上収益は、前年同期と比べ2.1%減（以下の比率はこれに同じ）の702億54百万円となりました。損益につきましては、事業利益は、4.3%減の65億62百万円、営業利益は、3.5%減の64億99百万円となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は、受取利息の増加、為替差益等により21.3%増の57億12百万円となりました。

(セグメント別販売状況)

① 半導体関連材料

[売上収益 20,159百万円（前年同期比 5.1%減）、事業利益 4,181百万円（同 7.9%減）]

半導体封止用エポキシ樹脂成形材料は、自動車販売台数の回復およびEV化の加速により、モビリティ用途は堅調に推移しましたが、パソコン、スマートフォンなど民生向けの需要回復が遅れており、顧客での在庫調整が長期化していることから販売数量・売上収益が減少しました。

感光性ウェハーコート用液状樹脂は、主要用途であるメモリー需要が堅調に推移しており、売上収益は前年同期並みで推移しました。

半導体用ダイボンディングペーストは、民生用途の需要回復遅れ、顧客での在庫調整により、売上収益は前年同期を下回りました。

半導体パッケージ基板材料「LαZ®」シリーズは、スマートフォン向け販売が回復途上にありますが、前年同期の水準には届きませんでした。

② 高機能プラスチック

[売上収益 24,252百万円（前年同期比 6.3%減）、事業利益 1,052百万円（同 6.6%減）]

工業用フェノール樹脂およびフェノール樹脂成形材料は、自動車販売台数の回復を背景に自動車部品用途は堅調に推移しましたが、北米での自動車タイヤ用途、欧州での建築断熱材用途、およびアジア地区におけるパソコン、スマートフォンなどの民生用電気製品向けの部品用材料で販売数量が伸び悩み、売上収益は前年同期比で減少しました。

銅張積層板は、エアコン用、車載用を中心に需要が低調で売上収益は減少しました。

航空機内装部品は、旅客輸送の増加にともない航空機産業の経営環境が改善していることに加え、欧州における販売拠点拡充が奏功し売上収益は増加しました。

③ クオリティオブライフ関連製品

[売上収益 25,669百万円（前年同期比 5.1%増）、事業利益 2,256百万円（同 10.5%増）]

医療機器製品は、国内病院向けの販売は前年同期並みでしたが、血液浄化関連製品が国内法人向けに加え、輸出も好調なことから、売上収益は大幅に増加しました。バイオ関連製品は、国内企業向けの在庫調整の影響等で売上収益は減少しました。

ビニル樹脂シートおよび複合シートは、医薬品包装用がジェネリック医薬品向けで好調を持続し、食品包装用も堅調に推移したことから売上収益は前年同期比で増加しました。

ポリカーボネート樹脂板および塩化ビニル樹脂板は、欧州向けのサングラス用偏光板で販売が回復しましたが、主力の国内建材用途の販売数量減が大きく、売上収益は前年同期比で減少しました。

防水関連製品は、新築住宅メーカー向けを中心に需要が好調で売上収益は増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

(2.1) 資産、負債および資本の状況

①資産の部

資産合計は、前連結会計年度末に比べ229億44百万円増加し、4,014億2百万円となりました。

主な増減は、現金及び現金同等物および有形固定資産の増加であります。

②負債の部

負債合計は、前連結会計年度末に比べ76億74百万円増加し、1,284億40百万円となりました。

主な増減は、コマーシャル・ペーパーの発行による増加であります。

③資本の部

資本合計は、前連結会計年度末に比べ152億70百万円増加し、2,729億62百万円となりました。

主な増減は、四半期利益の計上および為替変動影響による増加と、配当金の支払による減少であります。

(2.2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末の現金および現金同等物（以下、資金）は、前連結会計年度末に比べ100億73百万円増加し、1,096億92百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は71億48百万円となりました。

これは主に、税引前四半期利益および減価償却費の計上による収入と、営業債務及びその他の債務の減少による支出の結果であります。前年同期と比べると40億88百万円の収入の増加となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動に用いた資金は34億12百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出と、定期預金の払戻による収入の結果であります。前年同期と比べると16億34百万円の支出の減少となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により得られた資金は9億48百万円となりました。

これは主に、コマーシャル・ペーパーの発行による収入と、配当金の支払による支出の結果であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月15日に公表いたしました業績予想の見直しは行っておりません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	99,620	109,692
営業債権及びその他の債権	60,954	63,464
その他の金融資産	1,133	522
棚卸資産	57,708	58,720
その他の流動資産	3,801	4,825
流動資産合計	223,216	237,224
非流動資産		
有形固定資産	107,479	112,459
使用権資産	7,603	7,787
のれん	1,343	1,453
その他の無形資産	2,528	2,593
その他の金融資産	27,132	30,848
退職給付に係る資産	6,777	6,805
繰延税金資産	2,134	2,011
その他の非流動資産	246	224
非流動資産合計	155,242	164,178
資産合計	378,457	401,402

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	21,824	26,525
営業債務及びその他の債務	52,826	52,236
その他の金融負債	1,359	1,693
未払法人所得税等	2,458	2,806
引当金	194	202
その他の流動負債	1,107	882
流動負債合計	79,767	84,343
非流動負債		
借入金	21,407	22,939
その他の金融負債	4,031	4,013
退職給付に係る負債	4,031	4,277
引当金	1,229	1,274
繰延税金負債	9,773	11,066
その他の非流動負債	527	527
非流動負債合計	40,999	44,097
負債合計	120,766	128,440
資本		
資本金	37,143	37,143
資本剰余金	35,137	35,137
自己株式	△6,799	△7,909
その他の資本の構成要素	34,475	48,315
利益剰余金	155,403	157,829
親会社の所有者に帰属する持分合計	255,358	270,516
非支配持分	2,333	2,446
資本合計	257,692	272,962
負債及び資本合計	378,457	401,402

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上収益	71,733	70,254
売上原価	△51,046	△49,666
売上総利益	20,687	20,588
販売費及び一般管理費	△13,832	△14,026
事業利益	6,855	6,562
その他の収益	82	19
その他の費用	△205	△81
営業利益	6,732	6,499
金融収益	493	1,178
金融費用	△877	△114
税引前四半期利益	6,348	7,564
法人所得税費用	△1,522	△1,814
四半期利益	4,826	5,750
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	4,711	5,712
非支配持分	115	38
四半期利益	4,826	5,750
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	100.11	121.57
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	—

要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期利益	4,826	5,750
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の変動額	△625	2,216
確定給付制度の再測定	—	△7
純損益に振替えられることのない項目合計	△625	2,209
純損益に振替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△22	1
在外営業活動体の換算差額	13,879	11,793
純損益に振替えられる可能性のある項目合計	13,857	11,795
税引後その他の包括利益	13,232	14,003
四半期包括利益	18,058	19,753
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	17,767	19,560
非支配持分	290	193
四半期包括利益	18,058	19,753

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

変動項目	親会社の所有者に帰属する持分					その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の変動額	確定給付制度の再測定	キャッシュ・フロー・ヘッジ	在外営業活動体の換算差額			
当期首残高	37,143	35,137	△6,794	139,383	9,852	—	△52	15,114	24,915	2,352	232,136
四半期利益	—	—	—	4,711	—	—	—	—	—	115	4,826
その他の包括利益	—	—	—	—	△625	—	△22	13,704	13,057	175	13,232
四半期包括利益	—	—	—	4,711	△625	—	△22	13,704	13,057	290	18,058
剰余金の配当	—	—	—	△2,823	—	—	—	—	—	△399	△3,222
自己株式の取得	—	—	△2	—	—	—	—	—	—	—	△2
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引合計	—	—	△2	△2,823	—	—	—	—	—	△399	△3,224
四半期末残高	37,143	35,137	△6,796	141,270	9,227	—	△74	28,818	37,971	2,244	246,969

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

変動項目	親会社の所有者に帰属する持分					その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の変動額	確定給付制度の再測定	キャッシュ・フロー・ヘッジ	在外営業活動体の換算差額			
当期首残高	37,143	35,137	△6,799	155,403	9,463	—	△41	25,053	34,475	2,333	257,692
四半期利益	—	—	—	5,712	—	—	—	—	—	38	5,750
その他の包括利益	—	—	—	—	2,216	△7	1	11,638	13,848	155	14,003
四半期包括利益	—	—	—	5,712	2,216	△7	1	11,638	13,848	193	19,753
剰余金の配当	—	—	—	△3,294	—	—	—	—	—	△80	△3,374
自己株式の取得	—	—	△1,109	—	—	—	—	—	—	—	△1,109
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	8	△16	7	—	—	△8	—	—
所有者との取引合計	—	—	△1,109	△3,286	△16	7	—	—	△8	△80	△4,483
四半期末残高	37,143	35,137	△7,909	157,829	11,663	—	△40	36,691	48,315	2,446	272,962

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	6,348	7,564
減価償却費及び償却費	3,494	3,307
受取利息及び受取配当金	△493	△935
支払利息	83	114
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△1,024	△732
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△457	△1,875
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,404	1,269
その他	△264	△688
小計	4,284	8,024
利息の受取額	189	574
配当金の受取額	531	312
利息の支払額	△70	△104
法人所得税の支払額	△1,873	△1,657
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,060	7,148
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,223	△4,391
有形固定資産の売却による収入	2	16
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	—	31
定期預金の預入による支出	△1,806	—
定期預金の払戻による収入	9	1,052
その他	△25	△116
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,046	△3,412
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△36	△350
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△11,000	5,000
長期借入れによる収入	—	1,033
長期借入金の返済による支出	△2	△2
リース負債の返済による支出	△247	△250
自己株式の取得による支出	△2	△1,109
配当金の支払額	△2,823	△3,294
非支配持分への配当金の支払額	△399	△80
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,510	948
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,952	5,388
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△9,543	10,073
現金及び現金同等物の期首残高	109,217	99,620
現金及び現金同等物の四半期末残高	99,673	109,692

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計方針)

要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第1四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しております。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの事業セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取り扱う製品・サービス別に事業を区分し、生産・販売・研究を一体的に運営する事業部門制を採用しております。各事業部門は、取り扱う製品・サービスについて国内および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

当社グループは、主に事業部門を基礎とした製品・サービス別の事業セグメントから構成されており、これらの事業セグメントを基礎に製品の市場における主要用途および事業の類似性を勘案し、「半導体関連材料」、「高機能プラスチック」、および「クオリティオブライフ関連製品」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する主な製品およびサービスの内容は次のとおりであります。

報告セグメント	主要な製品・サービス
半導体関連材料	半導体封止用エポキシ樹脂成形材料、感光性ウエハーコート用液状樹脂、半導体用液状樹脂、半導体基板材料
高機能プラスチック	フェノール樹脂成形材料、工業用フェノール樹脂、成形品、合成樹脂接着剤、フェノール樹脂銅張積層板、エポキシ樹脂銅張積層板、航空機内装部品
クオリティオブライフ関連製品	医療機器製品・医薬品、メラミン樹脂化粧板・化粧シート、ビニル樹脂シートおよび複合シート、鮮度保持フィルム、ポリカーボネート樹脂板、塩化ビニル樹脂板、防水工事の設計ならびに施工請負、バイオ関連製品

(2) セグメント収益および業績

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	要約四半期 連結損益計 算書計上額
	半導体 関連材料	高機能 プラス チック	クオリティ オブライフ 関連製品				
売上収益							
外部顧客への売上 収益	21,248	25,889	24,424	171	71,733	—	71,733
セグメント間の内部 売上収益または振替高	—	40	0	—	40	△40	—
計	21,248	25,929	24,425	171	71,772	△40	71,733
セグメント損益 (事業利益)(注) 1	4,539	1,127	2,042	49	7,757	△902	6,855

(注) 1 セグメント損益(事業利益)は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

2 「その他」の区分は、試験研究の受託、土地の賃貸等を含んでおります。

3 セグメント損益(事業利益)の調整額△902百万円には、セグメント間取引消去25百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△927百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究費用等であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	要約四半期 連結損益計 算書計上額
	半導体 関連材料	高機能 プラス チック	クオリティ オブライフ 関連製品				
売上収益							
外部顧客への売上 収益	20,159	24,252	25,669	174	70,254	—	70,254
セグメント間の内部 売上収益または振替高	—	50	0	—	51	△51	—
計	20,159	24,302	25,669	174	70,304	△51	70,254
セグメント損益 (事業利益)(注) 1	4,181	1,052	2,256	37	7,527	△965	6,562

(注) 1 セグメント損益(事業利益)は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

2 「その他」の区分は、試験研究の受託、土地の賃貸等を含んでおります。

3 セグメント損益(事業利益)の調整額△965百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△969百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究費用等であります。

セグメント損益から税引前四半期利益への調整は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
セグメント損益	6,855	6,562
その他の収益	82	19
その他の費用	△205	△81
営業利益	6,732	6,499
金融収益	493	1,178
金融費用	△877	△114
税引前四半期利益	6,348	7,564